

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

| | | | |
|----------------|--------------|-----|----------------|
| ○事業所名 | うんどう☆ことばの教室 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年 1月 1日 | | ～ 2025年 1月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 23人 | (回答者数) 16人 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年 1月 1日 | | ～ 2025年 1月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 11人 | (回答者数) 11人 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 3月 31日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|------------------------------------|
| 1 | 支援員を人員配置基準を超えて配置している。 | 保護者様が安心して子供たちを預けられるように、また、安全を担保できるように支援員を多く配置している。 | 内部研修、外部講師による研修を実施し、支援員の質の向上を図っていく。 |
| 2 | 療育の目的別に十分なスペースを確保している。 | 療育の目的別にお部屋を色分けし、子供たちが視覚的に何をやるのかを理解できるようにしている。 | 常に、楽しく学べるような工夫も考えていく。 |
| 3 | 多職種の支援員によるきめ細かな支援の提供が出来る。 | 支援員のスキル、経験をお互いに学べるようにしている。 | 支援員による勉強会を開催し、さらに多く学べるようにしていく。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|---|
| 1 | 療育教材（遊具、絵本など）が多くなり、有効に活用することが出来なくなっている。 | どんな療育教材がどこにあるのか管理されていないので、効率よく利用することが出来ない。 | 保管している療育教材の内容を対象年齢、教材の内容、数量、保管場所などを一元的に管理できる仕組みをパソコンで作成し、療育教材を購入または作成する時に検索できるようにする。 |
| 2 | 安全計画や事業継続計画（BCP）でとりまとめた、事故対応、災害対応等の緊急時の対応マニュアルに従って、訓練や研修を実施しているが、実際に緊急事態が発生した場合に、利用者ならびに従業員の安全を担保しながら、速やかに対応できるよう、保護者・従業員他への周知と訓練が十分できていない。 | 施策により多くのマニュアルを作成しているが、その一つ一つの情報量が多く、また実施に多くの時間と人員が必要になる為、緊急事態が発生した時に、計画した通りに対応することが出来ない可能性がある。 | マニュアルから抜粋した簡易版マニュアルを作成する。簡易マニュアルはフローチャートや図・写真を入れたものにし、文字を詳しく読まなくても理解・実施できるものにする。さらに、適宜のマニュアルの見直しと更新を行う。 |